

機関誌『GBRC』2025年総目次【Vol.50, No.1 (199号)～No.4 (202号)】

(号)

巻頭言

2025年新春のご挨拶

川瀬博.....199

ロケット・サイエンス

西山峰広.....200

変化への適応－DXへの期待－

河津龍大.....201

物価高時代にやるべきこと

山本英樹.....202

GBRC創立60周年記念セミナー特別講演抄録

住宅・建築の省エネルギー性能評価法の現状と課題
－2050年ネットゼロに向けて－

澤地孝男（建築研究所）.....199

脱炭素社会の実現に向けた建築物における木材の利用促進－建築基準法の改正と高層化－

五十田博（京都大学）.....199

GBRC創立60周年記念座談会

－辻文三元理事長を囲んで.....199

機関誌GBRC発刊第200号記念特集

特別企画① 機関誌GBRCの歩み、特別企画「読者アンケート」ご報告.....200

特別企画② 今後の建築技術の展望

宇宙居住に向けた取り組みの歴史・現状・展望

荒木慶一（京都大学）、十亀昭人（東海大学）、鶴巻崇（Heatherwick Studio）、山出美弥（立命館大学）.....200

RX（ロボティクス・トランスフォーメーション）

－建設業の未来に向けた、建設RXコンソーシアムの取り組み－

村上陸太（竹中工務店）.....200

建設3Dプリンティング

寺西浩司（名城大学）.....200

コンクリートの新技術

三橋博三（東北大学）.....200

木造建築技術の今後の展望－混在と融合－

小見山陽介（京都大学）.....200

日本鉄鋼業のカーボンニュートラルへの取り組み

平川智久（日本製鉄）、吉田敦彦（神戸製鋼所）、安永隼平・笹祐也（JFEスチール）.....200

再生可能エネルギー事業と地域共生～山形県遊佐町

沖洋上風力発電のケース

諸富徹（京都大学）.....200

2025年日本国際博覧会特集 その1

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）会場施設の全体概要について

鈴木和弘（2025年日本国際博覧会協会）.....201

パビリオン・施設の紹介

パビリオンマップ／大屋根リング／FUTURE OF

LIFE いのちの未来（石黒館）／null²（落合館）／

いのち動的平衡館（福岡館）／いのちめぐる冒険（河

森館）／EARTH MART（小山館）／Dialogue

Theater－いのちのあかし－（河瀬館）／大阪ヘル

ルスケアパビリオン Nest for Reborn／三菱未

来館／パナソニックグループ パビリオン「ノモ

の国」～ファサード～／ウーマンズ パビリオン

in collaboration with Cartier／ガスパビリオン

おばけワンダーランド／飯田グループ×大阪

公立大学共同出展館／Blue Ocean Dome（ブ

ルーオーシャン・ドーム）／未来の都市／サステ

ナドーム（CUCO[®]－SUICOM ドーム）／森に

なる建築／オーストラリアパビリオン／ウズベ

キスタンパビリオン／アメリカパビリオン／中

国パビリオン／ハンガリーパビリオン／シンガポ

ールパビリオン／EXPOメッセ「WASSE」イベン

トホール棟／ポップアップステージ西／休憩所1

（fuku fuku）／EXPOアリーナ「Matsuri」（グ

リーンワールド工区）／EXPOアリーナ物販棟

2025年日本国際博覧会施設に対する審査等業務のご報告.....201

2025年日本国際博覧会特集 その2

2025年大阪・関西万博パビリオン・施設の安全審査と構造デザイン

宮本裕司（大阪・関西万博施設安全審査小委員会）.....202

大屋根リングと6つのパビリオンの技術的特色

大阪・関西万博 大屋根リングの構造設計

林将利（梓設計）、北山宏貴（大林組）、鷹羽直樹

（清水建設）、九嶋壮一郎（竹中工務店）.....202

いのち動的平衡館の構造設計

金子寛明・大平直子・花岡光（鹿島建設）.....202

シグネチャーパビリオン EARTH MART の構造設計 杉山進伍・渡辺征晃 (大成建設)	202
パナソニックグループ パビリオン「ノモの国」ファサードの構造設計 三井達雄・山口温弘 (大林組)	202
Blue Ocean Dome の構造設計 伊藤潤一郎・滝口雅之・筑帛啓太 (Arup)	202
森になる建築～生分解性樹脂を構造材として利用した大型3Dプリント仮設建築～ 濱田明俊・増田寛之・内山元希・渋谷朋典・杉本涼太郎 (竹中工務店)	202
サステナドーム (CUCO [®] - SUICOM ドーム) の設計とその意義 金子寛明・閑田徹志・巴史郎・荒井康昭 (鹿島建設)	202

技術報告

立命館大学大阪いばらきキャンパス H 棟における防災計画 田中はつみ・城明秀 (竹中工務店)	199
---	-----

試験・研究

木造軸組大壁耐力壁の面材相互の接触を考慮した抵抗機構と耐力に関する解析的研究 加藤百合子、五十田博 (京都大学)、今西達也	199
木野瀬透君 博士 (工学) の学位取得	201
フェノールフタレイン溶液を利用したコンクリート構造物の火害調査手法に関する研究 (博士学位論文要約) 木野瀬透	201

研究速報

防火設備の枠部分における遮熱性評価方法に関する実験的検討－裏面温度と離隔温度の関係－ 岸仁志・四元順也・豊田康二	199
---	-----

テーマ解説

船内騒音規制に係る遮音性能試験および船内騒音技術者講習会 (NoMS) 田中学	199
--	-----

知っておきたい基礎シリーズ

コンクリート② 品質－フレッシュ性状、強度 工事用試験室	199
避難経路と安全区画 性能評定課	201
連続テーマ「地震と地震動」①知っているようで知らない地震と地震動の話－まずは震度とマグニチュー	

ドの違いについて

数値解析室	202
-------------	-----

事業報告

製品認証, 建築確認検査, 性能評価完了案件, 建築技術性能認証・証明, 建設材料技術性能認証・証明, 建築防災計画評定, 構造計算適合性判定 (法定)	199
製品認証, 性能評価完了案件, 建築技術性能認証・証明, 建築防災計画評定, 構造計算適合性判定 (法定)	200
製品認証, 建築確認検査, 性能評価完了案件, 建築技術性能認証・証明, 建設材料技術性能認証・証明, 建築防災計画評定, 構造計算適合性判定 (法定)	201
2024 年度工事用材料試験結果の集計, 製品認証, 性能評価完了案件, 建築技術性能認証・証明, 建設材料技術性能認証・証明, 建築防災計画評定, 構造計算適合性判定 (法定)	202
超高層建築物評価シート 立石駅北口地区第一種市街地再開発事業 施設建築物西街区《建評 23-022A-004-01A》	202
免震構造等建築物評価シート 横須賀共済病院《建評 23-022C-009》	199
(仮称) 千代田区三番町 6-5 プロジェクト《建評 24-022C-005》	200
(株) 富士ピー・エス 九州小竹工場リニューアルプロジェクト (Ⅳ期)《建評 24-022C-008》	201
建築技術性能証明評価シート 鉄筋コンクリート梁に部分高強度鉄筋ダブルスタークを用いる工法 (改定 1)【再掲】《第 20-17 号改 1》, 鴻池式壁集約筋工法－壁筋の継手・定着工法－《第 23-32 号》, 東京鉄鋼式梁貫通型柱 RC 梁 S ハイブリッド構法－ふさぎ板を用いた梁貫通型柱 RC 梁 S 接合部構法－《第 24-01 号》, 建築構造用高性能 550 N/mm ² 鋼材《第 24-02 号》, 摩擦圧接を用いた杭基礎材の接合《第 24-03 号》, T・Wing4 パイル工法－回転貫入鋼管ぐい工法－《第 24-04 号》, パワーブレンダー工法－スラリー系機械攪拌式混合処理工法 (全層鉛直攪拌方式)－《第 24-05 号》, DKOM-RCS 構法－ふさぎ板を用いた梁貫通型柱 RC 梁 S 接合部構法－《第 24-06 号》, New タイガーパイル工法－縦溝鋼管を有するソイルセメントコラムを用いた地盤補強工法－《第 24-07 号》, AHBS 構法 (安藤ハザマ複合構造梁構法)－スパン	

中央部S造、材端部RC造またはSRC造の複合構造梁構法－(改定2)《第04-01号改2》, 竹中式波形鋼板耐震壁工法－付帯フレーム内に波形鋼板壁を組み込んだ耐震壁工法－(改定5)《第06-20号改5》, NS構法－スプリットティ引張接合による角形鋼管柱とH形鋼梁との剛接合構法－(改定6)《第07-15号改6》, HySPEED(ハイスピード)工法－柱状碎石補強体を用いた地盤補強工法－(改定5)《第09-20号改5》, アンダーパイル工法－既製RCパイルを用いた杭状地盤補強工法－(改定5)《第10-07号改5》, ExPile工法－外構に用いる側圧抵抗板付き鋼管杭工法－(改定2)《第12-01号改2》, ハットウイング工法－凹型円盤翼付鋼管を用いた杭状地盤補強工法－(改定3)《第15-17号改3》, SF-Pile工法－場所打ちセメントミルク杭状補強体を利用した地盤補強工法－(改定3)《第16-13号改3》, 木集成材で座屈拘束した平鋼ブレース(改定2)《第19-03号改2》, ガイアF1パイルSR工法－先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法－(改定3)《第19-15号改3》, okabe仮設開口補強工法(改定3)《第19-17号改3》, MOMOTAROPILE工法－先端翼付鋼管を用いた杭状地盤補強工法－(改定2)《第19-19号改2》, 継角工法－沈下修復工事に用いる鋼管圧入工法の無溶接継手－(改定1)《第21-02号改1》, T-HR構法－大成式ヒンジリロケーション構法－(改定1)《第21-15号改1》, Mコラム工法－スラリー系機械攪拌式柱状地盤改良工法－(改定1)《第22-06号改1》, 建築構造用520N/mm²鋼材及び建築構造用550N/mm²鋼材(改定1)《第22-31号改1》, 鉄筋組立スポット工法－組立スポット－(改定1)《第23-12号改1》, UTK鉄筋スポット先組工法(改定1)《第23-17号改1》, 鉄筋スポット先組工法－鉄筋スポット－(改定1)《第23-23号改1》, 鉄筋スポット先組工法(改定1)《第23-26号改1》, ソリッドキューブ工法－スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法－(改定3)《第10-23号改3(更1)》, エルマッドS工法－スラリー系機械攪拌式ブロック状地盤改良工法－(改定3)《第11-14号改3(更2)》, 環境パイルS工法－防腐・防蟻処理木材による複合地盤補強工法－(改定6)《第11-29号改6(更1)》, SSコラム工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－(改定2)《第12-07号改2(更2)》, ファインパイル工法eco－界面活性剤を用いたスラリー系機械攪拌式深

層混合処理工法－(改定)《第12-25号改(更3)》, コラムZ工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－(改定)《第12-26号改(更3)》, サンダーラフト工法－小口径場所打ちモルタル補強体を用いた複合地盤補強工法－《第15-10号(更3)》, アルファフォースパイルⅡ工法－先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法－《第17-33号(更2)》, ALKTOPⅡ工法(拡底型)－小口径鋼管を用いた杭状地盤補強工法－《第17-38号(更2)》, ALKTOPⅡ工法(ストレート型)－小口径鋼管を用いた杭状地盤補強工法－《第17-39号(更2)》, YC-X工法－既製コンクリート柱状材を用いた地盤補強工法－《第18-03号(更2)》, スクリューフリクションパイル工法－螺旋状の節を有するセメントミルク補強体を用いた杭状地盤補強工法－(改定1)《第18-05号改1(更1)》, SEP工法－セメントミルク柱状補強体による杭状地盤補強工法－《第20-27号(更1)》, すみ兵衛工法－セメントミルク柱状補強体による杭状地盤補強工法－《第20-28号(更1)》, DGハイブリッド工法－編鋼板製鋼管を有する地盤改良体を用いた杭状地盤補強工法－《第21-06号(更1)》.....199

D-TECPILE工法ⅡPLUS－小口径鋼管及び碎石を用いた杭状地盤補強工法－《第24-08号》, ALKTOPⅡ工法PLUS(拡底型)－小口径鋼管及び碎石を用いた杭状地盤補強工法－《第24-09号》, ALKTOPⅡ工法PLUS(ストレート型)－小口径鋼管及び碎石を用いた杭状地盤補強工法－《第24-10号》, JP-Pile工法－先端翼付き回転貫入ぐい工法－《第24-11号》, ネジonicon鉄筋継手《第24-12号》, サクラコラムPro工法－先端に拡径部を有する柱状改良体を用いた地盤補強工法－《第24-13号》, TU-合成梁工法－トラス筋を用いたプレキャスト合成梁工法－《第24-14号》, 溶接ユニット鉄筋工法－溶接組立鉄筋による先組工法－《第24-15号》, タフネジバーグラウト継手－ねじ節鉄筋の機械式継手－《第24-17号》, 絆ジョイント工法－小口径鋼管を用いた杭状地盤補強材の機械式継手－《第24-18号》, タフネジバー無機グラウト継手FLタイプ《第24-19号》, RES-P工法－小規模建築物の基礎に用いる細径鋼管による地盤補強工法－(改定12)《第04-02号改12》, QPパイル工法(キューピーパイル工法)－木材による地盤補強工法－(改定4)《第12-18号改4》, スーパー

NP-PACK工法eco－回転圧入したストレート型鋼管を用いた地盤補強工法－（改定2）《第12-21号改2》，くい丸工法－絞り加工を施した細径鋼管を用いた杭状地盤補強工法－（改定1）《第15-18号改1》，サクラコラム工法－拡張部を築造可能なスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定1）《第20-04号改1》，竹中非梁貫通形式柱RC梁S接合構法（改定1）《第20-20号改1》，ウルトラコラム工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定4）《第08-06号改4（更1）》，Σ-i工法－先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法－（改定3）《第10-13号改3（更2）》，+NBZ工法－碎石と杭を併用した地盤補強工法－（改定2）《第11-22号改2（更3）》，efコラム工法－セメントミルクで囲まれた鋼管を有するソイルセメントコラムを用いた地盤補強工法－（改定）《第13-18号改（更3）》，CDP工法－碎石を用いた地盤の密度増大工法－《第15-19号（更3）》，ベースグラウンドファウンデーション工法－細径鋼管を用いた地盤補強工法－《第18-18号（更2）》，SDS－ピュアパイル工法（SDS－PP工法）－セメントミルク杭状補強体による地盤補強工法－《第21-09号（更1）》……200

JDCRC-S構法－梁貫通型柱RC梁Sの接合構法－《第24-16号》，奥村式鉄骨基礎梁工法《第24-20号》，PurePileMassⅣ（ピュアパイルマッシュ）工法－セメントミルク杭状補強体による地盤補強工法Ⅳ－《第24-21号》，大和式異径柱接合工法《第24-22号》，FrameFinderシステムによる鉄骨建方測定工程の省力化管理手法《第24-23号》，鉄筋スポット先組工法（株式会社宮村鉄筋工業）《第24-24号》，鉄筋スポット先組工法（株式会社清進工業）《第24-25号》，PIE工法－繊維を混練した機械攪拌による山留め改良体築造工法－《第24-26号》，ダイナ・メガ・プレス工法Ⅱ－回転貫入ぐい工法－《第24-27号》，ビルトH梁端溶接タブ止め工法－梁端溶接の施工省力化と優れた耐震性能を両立するJFEのビルトH梁－《第24-29号》，鉄筋スポット先組工法（株式会社ダイニッセイ）《第24-30号》，JFEスチールの連続小梁構法－連続梁とした小梁架構の接合部および小梁省力化構法－《第24-33号》，JFEスチールの溶接組立箱形断面柱の角部部分溶込み溶接工法《第24-34号》，鉄筋スポット先組工法（有限会社佐藤技建）《第24-35号》，エスミコラム工法－スラリー系機械攪拌式深

層混合処理工法－（改定3）《第01-16号改3》，CUW工法－山留め壁の応力材と後打ち鉄筋コンクリート造壁を構造的に一体化させた壁体工法－（改定1）《第02-13号改1》，パイルフィット継手工法－小口径鋼管の機械式継手工法－（改定3）《第08-12号改3》，大和ハウス式鉄骨梁横補剛工法－床スラブで上フランジが連続的に横移動拘束された鉄骨梁の横補剛工法－（改定4）《第14-11号改4》，日本製鉄の鉄骨梁横座屈補剛工法－床スラブで上フランジが連続拘束された鉄骨梁の横補剛工法－（改定3）《第14-12号改3》，ピュアパイル工法typeⅢ－セメントミルク杭状補強体による地盤補強工法－（改定1）《第18-24号改1》，RC扁平梁工法（改定1）《第22-10号改1》，ニューフェローデッキスラブ－鉄筋トラス付きデッキ－（改定1）《第22-12号改1》，フェロー床版－鉄筋トラス付きデッキ－（改定1）《第22-13号改1》，J-RCS構法－ふさぎ板を用いた梁貫通形式RC柱S梁接合部構法－（改定1）《第23-05号改1》，イチケン式柱RC梁S混合構法－帯筋またはふさぎ板を用いた梁貫通型柱RC梁S接合構法－（改定1）《第23-22号改1》，アスコラムTYPEⅡ－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定3）《第06-09号改3（更2）》，ライジングW工法－スラリー系機械攪拌式ブロック状混合処理工法－（改定）《第13-02号改（更3）》，TG-m工法－先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法－（改定2）《第14-31号改2（更1）》，ウルトラピラー工法－セメントミルク杭状地盤補強体を用いた地盤補強工法－《第18-20号（更2）》，刃工法－先端翼付鋼管を用いた杭状地盤補強工法－（改定2）《第19-04号改2（更1）》，ニューバースコラム工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定1）《第20-09号改1（更1）》，SQPile工法－先端沓付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法－《第21-16号（更1）》……201

建築構造用冷間ロール成形角形鋼管「UコラムU365」（設計・施工）《第24-28号》，EcoX-G工法（エコクロスジー工法）－格子状補強枠による軟弱地盤補強工法－《第24-31号》，YsベースリングⅡ工法－基礎梁貫通孔補強工法－《第24-32号》，村本RCS構法－梁貫通・ふさぎ板形式柱RC梁S複合構造－《第25-01号》，J-SCS構法－薄肉鋼管で横補強した鋼管内蔵コンクリート柱・鉄骨梁混合構法－《第25-02号》，かべプラス工法－接着系

あと施工アンカーを用いた立上り壁の構築－《第25-03号》、スリムパイルヘッド構法－接合定着筋と井桁補強筋を用いた場所打ちコンクリート杭頭半剛接合構法－《第25-04号》、鉄筋スポット先組工法（有限会社ハウザキ）《第25-05号》、住友ゴム式高減衰ゴムダンパー《第25-06号》、ネジonicon鉄筋継手（熱処理異形棒鋼SD700U）《第25-07号》、ネジoniconLタイプ継手（熱処理異形棒鋼SD700U）《第25-08号》、KS-Wall構法－鹿島式鉄骨系骨組－RC耐震壁架構－《第25-09号》、鉄筋スポット先組工法（株式会社ノグチ）《第25-10号》、SIMデッキスラブ工法－鉄筋トラス付捨て型枠床版工法－《第25-11号》、ECS-DJ－異径継手を有する縮管加工鋼管－《第25-12号》、鉄筋スポット先組工法（有限会社山内工業）《第25-13号》、MIRACR構法－開口付き中板と三角スチフナを用いたRC柱S梁接合部構法－（改定1）《第06-13号改1》、ピュアパイル工法（PP工法）－セメントミルク杭状補強体による地盤補強工法Ⅱ－（改定5）《第11-28号改5》、オチTS工法－既製RC柱状材を圧入して用いる杭状地盤補強工法－（改定7）《第12-02号改7》、くし兵衛工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定2）《第13-03号改2》、しん兵衛工法－節付細径鋼管を有するソイルセメントコラムを用いた地盤補強工法－（改定3）《第13-04号改3》、CASシステム－溶接スタッド鉄筋工法－（改定1）《第14-16号改1》、SATコラム工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定2）《第18-28号改2》、SHハイブリッドコラム工法－セメントミルク芯部を有する地盤改良体を用いた地盤補強工法－（改定2）《第18-29号改2》、双工法－先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法－（改定3）《第19-04号改3》、暁工法－羽根付き鋼管による杭状地盤補強工法－（改定2）《第19-28号改2》、大和式ノンダイアフラム柱梁接合法工法－溶接組立箱形断面を用いたノンダイアフラム柱梁接合法工法－（改定1）《第20-23号改1》、炎工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定2）《第22-40号改2》、PCaパラレル基礎梁工法－プレキャスト複合コンクリート基礎梁－（改定1）《第23-21号改1》、溶接ユニット鉄筋工法－溶接組立鉄筋による先組工法－（改定1）《第24-15号改1》、ニューバースパイルⅡ工法－先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法－（改

定4）《第09-02号改4（更1）》、セキスイハイムM3及びセキスイツーユーホームW複合地盤補強工法－杭状地盤補強材による地盤補強工法－（改定4）《第09-06号改4（更2）》、クロスウイングコラム工法－スラリー系機械攪拌式深層混合処理工法－（改定1）《第12-17号改1（更2）》、H－CP工法－H形プレストレストコンクリート柱状材を用いた地盤補強工法－（改定2）《第12-22号改2（更3）》、ライジングD工法－粉体系機械攪拌式ブロック状浅層混合処理工法－《第13-01号（更4）》、ニューバースパイルV工法－先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法－（改定3）《第13-08号改3（更1）》、エコノミック・ベース工法－柱状碎石補強体を用いた地盤補強工法－（改定1）《第16-05号改1（更2）》、トルネードパイル工法－らせん溝付鋼管を有するソイルセメントコラムを用いた地盤補強工法－（改定1）《第20-06号改1（更1）》、トルネードラフト工法－らせん溝付鋼管を有するソイルセメントコラムを利用した地盤補強工法－（改定1）《第21-05号改1（更1）》……………202

建設材料技術性能証明評価シート

仕上材を有するコンクリートの中性化抵抗性を確認するための透気試験複合法《第24-01号》、高炉スラグ微粉末高含有コンクリートを用いた炭酸化養生によるCO₂吸収型板状プレキャストコンクリート部材の製造方法《第24-02号》、暑中期のフレッシュ性状改善およびS値低減効果を有する化学混和剤を用いたコンクリート工法（改定1）《第20-05号改1》、凝結促進用混和材（ACF-WおよびACF-MU）を用いたコンクリート（改定1）《第21-02号改1》……………199
高耐久化のためのシート被覆した住宅基礎コンクリート《第24-03号》、H-BAコンクリート－長谷工式異種セメント併用による高炉セメントA種に相当するコンクリートの製造および施工－（改定1）《第22-05号改1》……………201
バイオ炭を用いたコンクリート（SUSMICS-Cs）《第25-01号》……………202

GBRC ニュース

GBRC 創立60周年記念セミナー開催報告、「オーブンラボ」初開催のお知らせ、GBRC 特別セミナー「1995年兵庫県南部地震から30年、最新の強震動予測技術で明日の関西の揺れを考える」開催予定のお知らせ、韓国KICTからの客員研究員の受入れ

に関するお知らせ, 2024年度研修事業開催のご案内 (2025年1月～3月開催分).....	199
GBRC 特別セミナー「1995年 兵庫県南部地震から30年、最新の強震動予測技術で明日の関西の揺れを考える」開催のご案内, 「オープンラボ」開催のご案内, 「健康経営優良法人2025 (大規模法人部門)」に認定されました, 2025年度研修事業開催のご案内.....	200
GBRC 業務説明会開催のご案内「GBRC 建築技術セミナー GBRC EXPO 2025」, 2025年度研修事業開催のご案内 (2025年7月以降開催分)	201
2025年度研修事業開催のご案内 (2025年10月以降開催分)	202

センターだより

[業務案内] 当法人風洞試験における3Dプリンターによる模型製作のご紹介, 海外出張報告: 国際会議 “77th RILEM Annual Week and the 1st Interdisciplinary Symposium on Smart & Sustainable Infrastructures” への参加, 国際会議 “International Buildings Physics Conference 2024” 参加報告	199
[業務案内] 建研式加力装置による柱部材・梁部材の逆対称曲げせん断実験, 海外出張報告: 国際会議 “17th International Conference on Alkali-Aggregate Reaction in Concrete (ICAAR 2024)” 参加報告, 13th Asia-Oceania Symposium on Fire Science and Technology 2024への参加報告.....	200
[業務案内] 船舶関係の火災試験に関するご紹介, GBRC 特別セミナー「1995年兵庫県南部地震から30年、最新の強震動予測技術で明日の関西の揺れを考える」開催報告, 「オープンラボ」開催報告	201
[業務案内] コンクリートの硫酸劣化に関する試験のご紹介	202

その他

SiTeC (On-Site Testing of Concrete) コンクリート現場試験技能者認定制度2024年度前期の登録者について, LaboTeC (Laboratory Testing of Concrete) 試験要員認定制度2024年度前期の登録者について	199
SiTeC (On-Site Testing of Concrete) コンクリート現場試験技能者認定制度2024年度後期の登録者について, LaboTeC (Laboratory Testing of Concrete) 試験要員認定制度2024年度後期の登録者について	201
2024年度の事業報告, 2025年度の事業計画	201
2024年度研究活動等報告.....	202
法人内「職員表彰」の紹介	201
新入職員のご紹介	199, 201
組織の動き・研修情報	199～202
室課紹介／経理課・経営企画室・構造試験室・構造判定部審査課	199～202
機関誌『GBRC』2024年総目次.....	199
お詫びと訂正のお願い	199
編集後記.....	199～202